【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公開番号】特開2006-221182(P2006-221182A)
【公開日】平成18年8月24日(2006.8.24)
【年通号数】公開・登録公報2006-033
【出願番号】特願2006-35340(P2006-35340)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｆ　1/133　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1368　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｆ　1/133　５７５
Ｇ０２Ｆ　1/1368
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２４Ｂ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｄ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２１Ａ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月28日(2009.1.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項５】
前記第１ゲート線に対して印加されるゲートオン電圧の持続時間が、前記第２ゲート線に対して印加されるゲートオン電圧の持続時間より短い、請求項３に記載の液晶表示装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
好ましくは、第１副画素電極に対するデータ電圧の印加が、前記第２副画素電極に対するデータ電圧の印加より先に開始される。そのとき、更に好ましくは、第１副画素電極に対するデータ電圧の印加期間の一部が第２副画素電極に対するデータ電圧の印加期間と重複する。そのとき、好ましくは、データ線に対するデータ電圧の印加開始時点から第２ゲート線に対するゲートオン電圧の印加開始時点までの時間より、第２ゲート線に対するゲートオン電圧の印加完了時点から上記のデータ電圧の印加完了時点までの時間、及び、第１ゲート線に対するゲートオン電圧の印加完了時点から上記のデータ電圧のレベルの上昇時点までの時間、がいずれも長い。その他に、第１ゲート線に対して印加されるゲートオン電圧の持続時間が、第２ゲート線に対して印加されるゲートオン電圧の持続時間より短くても良い。